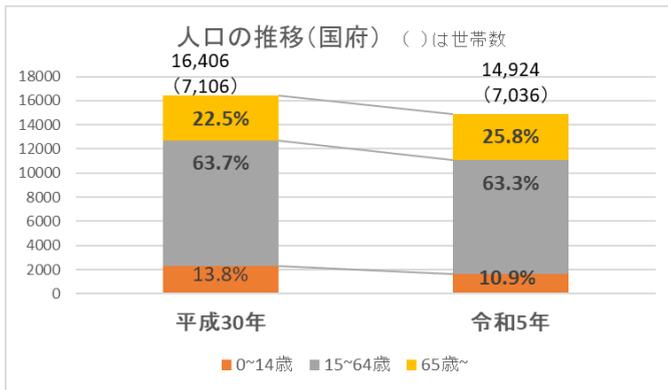


地域別人口



基礎データ

組織・人的資源	町会自治会数	18
	校区社協役員数	21
	校区社協ボランティア数	75
	民生委員・児童委員数	26
	老人クラブ会員数	704
	いきいきサロン数	12
	子育てサロン数	0
	子ども食堂(子どもの居場所)数	0
	いきいきすみ体操団体数	10
	高齢者見守り協力事業所数	17
自主防災組織の有無	有	
対象者数	ふれあい訪問利用者数	112
	誕生月訪問利用者数	358
	避難行動要支援者登録数	94

ふくしアンケート結果ランキング(抜粋)

こんなまちだといいな	
1.買物が便利なまち	
2.住民同士のまとまりや助け合いが多いまち	
3.災害時の避難体制や避難所の運営がわかりやすく示されているまち	
こんな場所があったらいいな	
一般住民	子ども(小学5年生・中学2年生)
1.高齢者の経験や強みを生かせる場所	1.思いっきり遊べる広い公園や広場
2.放課後に保護者が帰宅するまで、安全に子どもが過ごせる居場所	2.雨の日でも遊べる場所
3.子育てを応援してくれる場所	3.自由に使える友だちとのたまり場所 3. いろいろな遊び道具があって自由に遊べるしせつ
興味があるボランティア活動	
一般住民	子ども(小学5年生/中学2年生)
1.子どもの登下校の見守り	1.年下の子どもの遊び相手をしたり面倒をみる
2.地域や世代を問わない誰もが食を通じて集える場づくり	2.年下の子どもに勉強を教えたり話し相手になる
3.災害ボランティア	3.赤ちゃんや小学校に入る前の子どもの世話をする

地域での話し合い(ワークショップ)での意見

- ❖ 地域のご近所さん同士など、身近な単位でのつながり作りや防災啓発活動を大切に、何かあった時には助け合える関係づくりを目指していこう。
- ❖ 子どもの遊び場や交流の場を作ったり、世代間交流など、子どもから大人まで、誰もが住みやすい地域の実現を目指し、話し合いの場(協議の場)を定期的にもとろう。

小規模の防災訓練や啓発を通じて、 地域がつながり、挨拶できる関係を作っていこう！

私たちの重点取り組み

重点取り組み①

【目 標】 防災の訓練や啓発を身近なところから行っていこう （自助、近助、共助）

【具体的な取り組み】

- 各町や班単位での自助の啓発、啓蒙に取り組んでいこう
- 多くの人が参加したくなる楽しみを交えた防災訓練等を行おう
- 各町や組単位で、共助の啓発のために出来ることから取り組んでいこう

重点取り組み②

【目 標】 近所のつながり、コミュニケーションの場を作ろう

【具体的な取り組み】

- いきいきサロン等の場を活用し、地域の交流や見守り活動を進めよう
- ニュースポーツを通じた交流の場や自治会館等での子どもの遊び場作り、祭りなどの世代間交流の機会を応援しよう
- 町会等の身近な単位で、地域のつながり作りのため、中高年の方の交流の場作りについて、検討を行っていこう

重点取り組み③

【目 的】 地域課題や取り組みについての話し合いや相談できる場を作ろう

【具体的な取り組み】

- 地域の関係団体の協力や情報共有が出来るように、話し合いの場を設けよう
- 自治会等の地域関係団体の役員に係る負担の軽減や高齢化対策について、皆で出来ることを考えていこう
- 人とつながりにくい、悩みを抱える人が、相談できる窓口、民生委員等の活動の周知を行っていこう

